

【前回の復習と補足】

- ・私たちが世界の出来事を説明するときには、因果関係を説明することによって、出来事を説明します。しかし、因果的説明は、説明する者の関心に依存する主観的なものです。
- ・それに対して、自然科学は個々の出来事の説明ではなくて、自然を支配する法則（自然法則）を探求しています。
- ・17世紀に西欧ではじまった近代自然科学は、非常に成功しました。その特徴は、
 - ①現象を要素に分解する要素主義、
 - ②自然を無機的な機械のようにとらえる機械論的な説明、
 - ③現象の数量化、
 - ④数学の応用です。
- ・法則による個々の自然現象の説明は、デフォルト推論になっており、デフォルトな諸条件を前提しています。そのなかでも、もっとも基礎的な前提が、均質な時間と空間の前提です。

- 【参考書】因果性について：森田邦久著『理系人に役立つ科学哲学』化学同人、
時間について：入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書、
形而上学全般について：アール・ユニー&セオドア・サイダー『形而上学レッスン』春秋社

§3 時間は実在するのか？

ジョン・マクタガート(J. MacTaggart, 1866-1925)は、論文「時間の非実在性」(1908)で、時間の非実在性を主張した。これは現代の時間論の古典であるので、この時間論を、入不二基義『時間は実在するか』をもとに解説する。

マクタガートの論証ステップ

- ステップ1：時間の捉え方には、A系列とB系列の二種類ある。
- ステップ2：B系列だけでは、時間をとらえるのに不十分である。
- ステップ3：A系列が、時間にとって本質的である
- ステップ4：A系列は、矛盾している。
- ゴール：時間は実在しない。

ステップ1：時間の捉え方には、A系列とB系列の二種類ある。

「より前」「同時」「より後」によって時間をとらえるのが、B系列である。

「より前」「より後」という関係には、次のような特徴がある。

- (1)二項関係である。 Rab
- (2)推移的な関係である。 Rab&Rbc→Rac
- (3)反対称的な関係である。 $\sim (Rab \rightarrow Rba)$
- (4)固定的な関係である。 (たとえどんなに時間がたっても前後関係は変化しない?)。

a と b は同時であるは、 $\sim Rab \& \sim Rba$

「過去・現在・未来」によって時間をとらえるのが、A系列である。

ステップ2：B系列だけでは、時間をとらえるのに不十分である。

(1)「変化」が、時間にとって本質的なものである。

(2) B系列だけでは、「変化」を説明できない。

したがって、

(3) B系列だけでは、時間を十全にとらえることはできない。

(1)は認めるとしよう。

(2)はなぜなのか？

「B系列上では、出来事が存在し始めたり、存在しなくなったりすることはありえないからである。出来事は、B系列の中につねに位置づけられたままなのであって、消え去ってしまうことはない。」

(入不二、p.78)

「B系列上に位置するE1やE2が、存在し始めたり、存在しなくなったりすることはできない。」

「それが可能であるかのように思うとすれば、E1やE2が、現在へと到来したり、過去へと消え去ったりすると考えているのであり、実はA系列の考え方をすでに使っていることになる。」(入不二、p.81)

「B系列の考え方のみで「変化」を説明しようとしても、その考え方は「固定性」「不変性」を特徴としているために、「変化」を捉えることができない。」(入不二、p.82)

ステップ3：A系列が、時間にとって本質的である

A系列は、時間の本質である「変化」をとらえることができる。

■反論<A系列は時間にとって必ずしも不可欠ではない>

反論①「A系列の消去を考える議論」

反論②「架空の話における時間を考える議論」

反論③「複数の実在する時間を考える議論」

反論①：ラッセルの見解：「過去である・現在である・未来である」を「より後」「より前」というB特性によって言い換えられる。たとえば、「ある出来事が未来である」を、そのように意識したり発話したりするという出来事「より後」に出来事Eがある、と言い換える。>

批判：後に述べるように、B系列は、C系列とA系列からなるので、B系列でA系列を説明できるが、そのことから、<A系列は時間にとって不可欠ではない>は帰結しない。

反論②：架空の話には、過去・現在・未来がないが、変化はある。つまり、架空の話の中ではB系列だけで変化が語られている。

批判①：架空の話の中には、B系列もない

批判②：架空の話の中には、B系列だけでなくA系列もある。

反論③：複数の世界があり、そこに複数の時間があり、複数の現在があるとすると、それらの全体は一つのB系列を持ちえても、一つのA系列を持ちえない。

批判①それぞれの世界においてA系列が本質的である。

批判②もし反論③が正しいなら、それは複数の時間があることを捨てるべきである。なぜなら、それは複数の時間は仮説の話であるが、A系列は現実世界の時間のことだからである。

■A系列・B系列・C系列

B系列は、前後関係である。したがって単なる順序関係ではない。それは時間的な順序関係であり、方向性がある。1, 2, 3, 4, 5、であって、5, 4, 3, 2, 1、ではないというような方向性がある。方向性

を取り去った順序関係を、C 系列とよぶ。**C 系列+A 系列=B 系列**。C 系列と A 系列は、他のものから導出されない「究極的」なものである。それに対して、B 系列は、「派生的」である。